

3 年 総合的な学習の時間 活動案

指導者 伊藤 智実(TI) 菊地 薫(TK)
阿部麻衣子(TA) 佐々木智子(TS)
池田 裕貴(TY)

1. 単元名 本荘の街すてき発見たい Part 2 ~ お店のすてきをしょうかいしよう ~

2. 単元の目標

- 本荘の店や名産品について調べたり見学したりすることを通して、本荘の街のよさに気付くことができる。
- 本荘の街の店や名産品に目を向け、自ら課題を見つけ、調べたり体験したりしたことをもとに、相手に分かるように表現することができる。

3. 活動に当たって

(1) 児童について

子どもたちは、1学期に初めての総合的な学習「本荘の街すてき発見たい」に取り組んだ。社会科の「まちたんけんをしよう」の学習をもとに、興味関心のある公共施設の中で調べてみたいところを出し合い、課題づくりをした。社会科の調べ方を参考に、実際に見学したり資料を集めたりした後、グループごとに施設の中の様子、仕事の様子、働く人の気持ちをまとめ発表し合った。また、2学期には、「ゆり養護学校の友だちとなかよしになろう」で、体の不自由な友達との交流を経験している。交流前にプロフィールや名刺を作り、事後にはお礼の手紙を送った。

これまでの活動を通して、子どもたちは、本荘の街について、調べたい意欲、表現したい意欲が高まっている。まだ追究方法は十分身に付いていないが、見通しをもって活動する子どもも出てきている。

(2) 単元について

本単元では、地域のよさをとらえる Part 2として、店や名産品を取り上げた。本荘にはごてんまりや本荘うどん、和菓子など、昔から作られ続けているものや地域独自の名産がある。これらに目を向け探究活動を進めていくことで、子どもたちは本荘の街のよさやすばらしさを感じ取ることができるだろうと考えた。

まず、子どもたちが調べたい店についてイメージマップを作り、調査対象別のグループを編成する。グループで、課題解決のためにインタビューや見学、体験を通して情報収集する。

さらに、調べてきたことを相手意識をもって分かりやすく伝えることができるように、保護者や地域の人、見学した店の人を招待して「本荘のお店すてき発表会」を開くという設定にした。新聞や紙芝居、写真活用、模擬体験の中から伝えやすい方法を選択し、教科で培った力を生かしながら、本荘のよさを伝えるようにする。

(3) 指導について

単元のはじめに、1学期の「本荘の街すてき発見たい」を振り返った後で、まだ調べていないところに目を向けさせるようにする。本荘うどんを給食で味わったことや市内循環バス「ごてんまり号」について調べたグループを話題にした後、実物を提示したり、店の写真を拡大して見せたりしながら、課題がもてるようにする。

課題追究の場面では、机上の調査に終わらないように体験に重点をおいた。実際に見たり触れたりすることで、本荘にあるものを身近に感じ取り、本荘のよさに気付き愛着をもつことができると考えた。得た情報を整理した後の発表準備段階では、資料を提示したり準備カードの活用を促したりすることで、子どもたちが見通しをもって学習を進めていくことができるようにする。振り返りカードで活動状況を把握し、発表の工夫やアイデアを賞揚、助言するなどの支援をして、意欲が持続できるようにしていきたい。

本時は、「お店のすてきがわかるように発表しよう」というめあてで、お互いに発表を見合う場である。発表練習の途中でお互いによさに気付き、それを伝え合うことで発表を少しでもよいものに高めていくようにしたい。また、発表が完成したと思われるグループは、TV授業を活用し教育センターの先生から自分たちの発表を見てもらい指導を受ける。まだ練習をしたいグループはプレイルームで練習するなど、グループの進度に合わせた支援をしていきたい。

4. 全体計画 総時間数 40 時間 (本時 28 / 40)

次	主な学習活動	形態	満足できる児童の姿	満足できる児童の姿に 近づけるための支援	教科との関連
一次 6	本荘市にあるすてきな店について話し合い単元を設定する。(2) 調べたい店についてのイメージを広げ、課題をつくる。(1) 調べたい店を決定し、グループ作りをする。グループで調べる内容、方法、順序を考えて計画を立てる。(3)	学年 個 グループ	・本荘の店のすてきを出し合い、関心をもつことができる。 ・店について調べたいことをもつことができる。 ・見通しをもち、協力して計画を立てることができる。	・発表をもとに、関心のもてそうな店を勧める。 ・興味をもてそうな課題を勧める ・友達の考えを聞きながら計画を立てることを勧める。	・見学の準備の仕方 (社会) ・インタビューをするための準備の仕方 (国語)
二次 17	グループの調べたいことを解決するために、情報を収集したり見学に行くための準備をしたりする。(4) ・本荘市のパンフレット ・見学依頼 ・インタビューの練習 見学をして、店のすてきを調べたり働いている人のすてきさを見つけたりする。(3) 見学してきたことを整理し発表する内容やまとめる方法を決める。(2) 調べた店のすてきをまとめる。(8)	グループ グループ 個 グループ グループ	・見学の計画に沿って、準備をすることができる。 ・調べたいことをインタビューするなどして、調査することができる。 ・伝えたいことに印をつけたり順番を決めたりして整理することができる。 ・写真や図、体験などを活用してまとめることができる。	・見学の計画の進み具合と一緒に確かめたり練習したりする。 ・一緒にインタビューをしたり、質問の仕方を指導したりする。 ・見つけたすてきを一緒に振り返ることで、整理できるようにする。 ・困っていることを確かめ、まとめ方の例を参考に示すなどして解決を図る。	・見学の準備(社会) ・手紙の書き方 (国語) ・インタビューの練習 の仕方 (国語) ・インタビューの仕方 (国語) ・メモの取り方(国語) ・見学の仕方(社会) ・調べたことのまとめ 方 (国語)
三次 12	発表方法を工夫する。 ・分かりやすい表現の工夫 ・発表の練習 (本時 5 / 9) ・手直し 発表会の準備をする。(3)	グループ グループ	・店のすてきが分かりやすく伝わるように発表することができる。 ・協力して発表会の準備をすることができる。	・役割分担に配慮しながら、その子どもに合った表現方法を勧める。 ・役割分担を確かめ、助言しながら進め方を見届ける。	・招待状の作り方 (国語)
四次 5	店のすてきを聞き手によく伝えるように発表し合う。(3) 振り返りカードや発表会カードをもとに、これまでの学習の仕方を振り返る。(2)	学年 個 学年	・店のすてきを分かりやすく伝えることができる。 ・本荘の店のすてきさや自分の学習の仕方について振り返ることができる。	・発表するときのポイントを確かめながら進めることができるように、発表会カードを用意する。 ・振り返る視点を明確にしたり考えを共有化する時間を確保したりする。	

過程	形態	時間	学習活動と予想される児童の反応	学習への支援	評価
つかむ	全	5	1. 本時の活動について確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> お店のすてきがわかるように発表しよう。 </div>	本時の活動について確認し、めあてをもって活動に取り組むことができるようにする。 発表を聞く際に、視点を与え、友達の発表のよさを見つけ、自分たちにも取入れたいところを見つけることができるようにする。	
とりくむ	グループ	45	2. 各コースで発表をし、よいところを伝え合う。 4グループずつ、4箇所に分かれ、交互に発表し合う。 ・写真があってわかりやすい ・体験コーナーがあるのがいい ・ゆっくり話していて聞きやすい 【印刷屋・アイリス ・ 吉野菓子 ・ ごてんまり 】 ・ ・ ・ 3年KR (Ts) 【ごてんまり ・ 吉野菓子 ・ アイリス ・ みそ醤油 】 ・ ・ ・ 3松教室 (Ta) 【ろうそく・みそ醤油 ・ うご製菓 ・ 石びき屋 】 ・ ・ ・ 3竹教室 (Tk) 【本荘うどん・うご製菓 ・ 石びき屋 ・ アイリス 】 ・ ・ ・ 3梅教室 (Ti) 発表後、友達の意見をもとに次の活動に入る。 ・TVの先生に見てもらおう。 ・手直しの計画を立てよう。 ・もっと練習しよう。	発表を始める前に自分たちのまとめ方、発表の仕方について見て欲しいポイントの商業タイムを設定をし、聞く側の子どもたちにそれをもとに友達の発表のよい点を考えることができるようにする。 発表者には友達の意見をメモできるようにカードを準備する。 発表がほぼ完成したグループにはTV会議システムで、教育センターの先生に見てもらうように勧める。 友達の意見をもとに自分たちの発表に付け足すところを話し合うように勧める。 まだ練習が足りないグループには、プレールームで練習するように勧める。 調べたことを分かりやすく伝えようとしているか。(観察)	
ふりかえる	全	10	3. 本時の振り返りを発表し合い、次時からの活動の見通しをもつ。	自分の考えをしっかりと発表し合うことができるようにカードに記入する時間を十分に確保する。 本時の活動のめあてを振り返り、友達からもらった意見をもとに、次時からの活動の見通しをもつことができるようにする。 調べたことが分かりやすく伝わるように発表することができたか。 (観察・シート)	